

済生会小樽病院 公開・オプトアウト書式

①	申請番号	R1-3
②	研究課題名	腹腔鏡下胆嚢摘出術を安全に施行するために
③	情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	電子カルテに保存されている病歴、血液検査結果、画像診断結果、病理検査結果および手術記録などを利用する。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い研究する。腹腔鏡下胆嚢摘出術に関わる安全性を確保するための方策を検討し、研究成果は当院内での診療向上に役立てるほか、関連学会・専門誌などに発表される場合があるが、名前など個人が特定される
④	利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、診療記録）、血液検査結果、画像診断結果、病理検査結果、手術記録（画像および文書）、
⑤	対象者及び対象期間	当院にて、急性胆管炎・急性胆嚢炎診療ガイドライン（TG07）以降に準拠した診断がなされた急性胆嚢炎および他の胆嚢疾患で同時期に胆嚢摘出（腹腔鏡下および開腹）が施行された全患者
⑥	利用の範囲	研究結果を公表する際には、被験者個人が特定される情報は含まず、また研究で得られたデータは、研究の目的以外に使用しない。
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【外科・消化器外科 副診療部長 木村 雅美】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。